

Memuro Town Assembly information

めむろ 議会だより

No.288 2026.8.12



特集 議会白書〈ダイジェスト版〉…………… P.2～P.3

令和7年度「芽室町議会白書」ダイジェスト版

「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して

芽室町議会の1年間の活動をまとめた「令和7年度議会白書」が完成しました。
より多くの方に読んでいただけるよう、今回はじめてダイジェスト版を作成しました。
皆さんの声を町政に生かす取組など、議会の「今」をご覧ください。

令和7年度 芽室町議会白書ダイジェスト版

もっと芽室を、もっと笑顔に。

あなたの声が、未来をつくる。

一人ひとりの想いを。
まちの力に。

芽室町議会は、「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指し、
町民の皆さんとともに、これからの芽室のまちづくりに取り組んでいます。

1 芽室町議会の基本方針 ～6つの柱で議会活動を推進～

① 開かれた議会



町民への情報公開を進め、参加しやすく、わかりやすい議会を目指します。

② 公平・公正、透明な議会運営



自由な議論を大切に、公平で透明性の高い議会運営を行います。

③ 適切な行政の監視と評価



行政を適切にチェックし、より良い調整に繋がるよう監視・評価を行います。

④ 町民本位の政策立案と提言



町民の視点を大切に、条例提案や政策提言に積極的に取り組みます。

⑤ 議会力、議員力の強化



研修や調査を通じて議員の資質を高め、議会全体の力を向上させます。

⑥ 継続的な議会改革の推進



町民から信頼される議会を目指し、改革と改善を続けます。

2 令和7年度の主な実績 (令和7年度実績/令和8年3月末現在)

議会モニター制度

20名
モニター数
(令和7年度)

平成24年度からの
累計参加者数

214名

令和7年度提案件数
113件

議会報告と町民との意見交換会

町内 28
会場で開催
参加者 239名



高校との連携

芽室高校 16名参加
白樺学園高校 227名参加

高校生との意見交換・
未来フォーラムへ展開

ホットボイス (町民からの声)

回答件数
8件

・議員定数、報酬について
・公立芽室病院について
・議会運営について など

議会だより

毎月発行
(通年発行)

配布数
7,170部
(令和8年4月号)

配布率
89%

3 芽室町議会の特色ある取組

議会モニター制度

町民の声を議会活動に反映
いただいたご意見・提案は、
議会運営や政策提言に
活かしています。

議会報告と町民との意見交換会

町民の声を政策に反映
町内各地区での意見交換会
を通じて、地域課題の共有と
政策提言につなげています。

議員の学校

将来の議会の担い手育成
主権者教育の一環として
議会の役割や仕組みを学ぶ
機会を提供しています。

高校との連携

若者の政治参加を促進
高校生との意見交換を通じ、
若い世代の意見を町政に
反映する取組を進めています。

北海道大学と連携

政策形成能力の向上
HOPS (北大公共政策大学院)
との連携により、調査研究や
研修を実施しています。

4 全国トップクラスの議会改革

主な受賞歴

- マニフェスト大賞 最優秀成果賞
- マニフェスト大賞 議会改革賞
- 全国町村議会議長会特別表彰 など

全国的にも高い評価を
いただいています!

議会改革ランキング (早稲田大学マニフェスト研究所)

2014～2018年度	2019～2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2025年度
全国 1位	全国 2位	全国 4位	全国 6位	全国 3位	全国 5位

町村では12年連続1位!

政策力の強化、主権者の参画、議会機能の強化の3つの視点で評価されています。

5 次年度に向けて

未来の芽室を、
一緒に考え、
カタチにしていく。

- ① 政策サイクルの再起動 (政策を形にする仕組みづくり)
- ② 広報広聴の機能拡充
- ③ 持続可能な議会にするための環境創出
- ④ 議会 DX の推進



芽室町議会

議会白書の詳細
は、こちらから▶



地域集会施設の再整備と コミュニティ政策

菊池 秀明(きくち ひであき) 議員



問 地域集会施設は、これからの コミュニティをどう支えるのか

人口減少や高齢化が進む中、市街地の地域集会施設では民間委託による管理運営が始まった。一方で、これまで地域が担ってきた管理や運営の仕組みは大きく変化している。私は今回、施設の維持管理そのものではなく、「これからの地域コミュニティをどのように支えていくのか」という視点から質問した。市街地と農村部の地域特性の違い、町内会加入率の低下、民間委託による影響などを踏まえ、地域集会施設の役割や今後の再整備計画の考え方について町の見解を求めた。

答 地域活動の拠点として位置付けを維持し、 利用者の声を反映していく

町からは、地域集会施設は今後も地域活動やコミュニティ活動の拠点として位置付けていく考えが示された。また、町内会加入者だけでなく、未加入者も含めた幅広い意見を聞きながら再整備計画を進めること、利用促進に向けた周知や利用者の意見把握にも取り組む方針が示された。さらに、市街地の施設については将来的な統合や集約も視野に入れながら、地域との協議を進めていく考えが示された。

一般質問を終えて

地域集会施設は単なる建物ではなく、人と人をつなぐ地域コミュニティの拠点です。人口減少社会だからこそ、施設のあり方だけでなく、地域主体性やコミュニティの将来像についても引き続き議論を深めていきたいと考えています。



地域担当職員制度

堀切 忠(ほりきり ただし) 議員



問 地域担当職員制度の 見直しの方向性は

答 全ての住民のために機能する 制度となるよう見直しを進める

問1 市街地と農村地域の住民対応の見直しは

芽室町の地域担当職員制度は、行政が地域の状況を把握し、住民の要望や課題を迅速に捉える体制として一定の成果があったと考える。一方、市街地では町内会加入率の低下により、「地域＝町内会」という認識が変わりつつある。市街地と農村地域の住民対応の在り方について、新たな方針で見直すのか伺う。

答1 地域を分けず、加入未加入にかかわらず対応する

市街地では、一部地域で町内会の解散があり、町内会加入率が50%を切る状況もある。従来のように町内会活動への関わりだけで、全ての住民とのパイプ役を担うことは難しいと認識している。また、農村地域でも、非農家の方々との関係など、地縁の価値観が多様化している。このため、市街地と農村地域を分けて検討する考えはない。今後は、町内会への加入・未加入にかかわらず、行政区に住む全ての住民のための職員として、地域担当職員がどのように機能できるかを検討する。

問2 地域担当職員の役割をどう見直すのか

地域課題や住民ニーズが多様化する中、地域担当職員は本来、行政区に住む全ての住民のための職員として位置づけられている。今後、その役割をどのように見直すのか伺う。

答2 広報広聴に加え、防災・福祉分野での役割を検討する

地域担当職員制度は、平成12年度の創設時から、町内会活動等の活性化を目的に、行政と住民のパイプ役として情報提供や課題の聞き取りを担ってきた。しかし、町内会を取り巻く状況や住民の生活様式、情報発信手段は大きく変化している。一方で、防災や福祉の分野では、対面による信頼関係づくりが不可欠な場面も多い。今後は、従来の広報広聴機能に加え、防災・福祉などの分野で新たな役割を検討する。これまでの取組を検証し、町民の意見も聞きながら制度を見直し、第6期芽室町総合計画にも方向性を明記していく。

一般質問を終えて

人口減少や地域コミュニティの変化が進む今こそ、地域担当職員には行政と住民を結ぶだけでなく、地域の人や団体をつなぐ「コーディネーター」としての役割が求められます。地域課題を共有し、多様な主体が協力できる仕組みづくりを進めることで、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりにつながることを期待しています。

ジェンダー平等の推進

立川美穂(たちかわ みほ) 議員



問 若年女性の転出を防ぎ、 地方創生をどう進めるか

答 多様な働き方の推進と、 意思決定の場への参画を後押しする

問1 第3期計画の成果と、若年女性転出の評価は

人口減少の中、若年女性の転出超過が深刻となっている。第3期男女共同参画基本計画の最終年を迎えるにあたり、成果指標の達成見通しと、若年女性の転出状況の改善についてどう評価しているか。また、次期計画へ向けた町民ニーズの把握は。

答1 転出率は減少傾向。今後はLINE等で町民の声を把握する

「性別に関係なく社会進出できる町だと思える町民の割合」は上昇傾向にあるものの、目標の90%達成は難しい状況にある。一方、若年女性の転出率は5年前と比較して約4ポイント減少し、一定の成果があったと考えている。次期計画の策定に向けては、LINE等のデジタルツールも工夫して活用し、若年層を含めた町民の意見を広く把握していく。

問2 女性の地域定着に向けた多様な働き方への支援は

若い世代、とりわけ女性が地域で働き、暮らし続けていくためには、多様な働き方やキャリア形成への支援が重要である。起業支援に加え、DX(デジタルトランスフォーメーション)やリモートワークなど柔軟な働き方の普及について、町はどう捉えているか。

答2 DX推進や起業支援により、働き続けられる環境をつくる

DX推進や柔軟な働き方、起業への支援は、女性が地域で働き続ける選択肢を広げる上で重要な視点だと認識している。これまで実施してきた起業セミナーなどの事業を継続するとともに、役場職員の多様な働き方を地域のモデルケースとして事業者と共有し、相談等にも対応していく。

問3 意思決定の場への女性参画をどう進めるか

地域の持続可能性を高めるためには、女性を含む多様な人材が意思決定の場に参画することが重要である。審議会委員や管理職、農業などの分野において、女性が将来のリーダーとして活躍できる環境づくりをどう進めるか。

答3 段階的に経験を積める仕組みを作り、チャレンジを応援する

現在、町の審議会等の女性委員登用率は約30%である。また、役場内の課長補佐職における女性割合は国の目標を達成しており、意思決定の場への参画が極端に低いとは認識していない。今後は、審議会や地域活動などで段階的に経験を積める仕組みを構築し、チャレンジする人を応援していく。農業分野においても、女性部活動などをステップとした登用に期待している。

一般質問を終えて

人口減少が進む中、若い世代、とりわけ女性が「暮らし続けたい、挑戦したい」と思える地域づくりは、地方創生の重要な視点です。今後は第4期男女共同参画基本計画の策定を注視し、働き方や人材育成、意思決定への参画が着実に進むよう引き続き提案していきます。

令和8年6月定例会議 一般質問

一般質問という名の 政策提案

一般質問は、現場の声を町政につなぐための貴重な機会です。町のさまざまな課題等を「見える化」した上で、芽室町で実現できる政策を提案します。年4回開催される定例会議(6月、9月、12月、3月)で一般質問することができます。

6月定例会議の一般質問には、
5人の議員が登壇しました。

※紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



議会のいまとこれからを！

今回の議員報酬
改定は令和9年
5月から適用

「議員定数と議員報酬の見直し」についての特設ページはこちらから



議会報告と町民との意見交換会を開催

令和8年7月11日（土）、めむろ駅前プラザ2階セミナーホールにおいて、「議会報告と町民との意見交換会」を開催しました。

議会では、「議員定数及び議員報酬の見直し」について報告するとともに、今後の持続可能な議会のあり方について、町民のみなさんと意見交換を行いました。



ご参加
ありがとうございました！

午前の部

20名

※午前・午後とも
同じ内容で実施しました。

午後の部

10名

合計

30名



主なご意見（一部抜粋）

- ✓ 住民の現場を見に来てほしい。住民参画の手法をもっと広げてほしい。
- ✓ 議員定数や報酬の見直しは必要。多様な人が議員になれる環境づくりを。
- ✓ 議会の情報発信を強化し、もっと身近に感じられる存在にしてほしい。
- ✓ 若い世代とのつながりを続けてほしい。
- ✓ 議員一人ひとりの声を聞く機会も設けてほしい。
- ✓ 議員活動には必要経費もかかる。政務活動費の導入についても検討を。

議会では、いただいたご意見や議会改革諮問会議からの
答申をもとに、これからも取組を進めてまいります。

議会報告会では、多くのご意見やご質問をいただき、改めて町民の皆さまの議会への期待と厳しい視線を実感しました。一つひとつの声を真摯に受け止め、賛否だけでなく、その背景にある思いや課題にも向き合いながら、より良い議会運営につなげてまいります。これからも「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」の実現に向けて、町民のみなさまとの対話を通じ、町民のみなさまとともに考え、信頼される議会となるよう不断の改革と研さんを重ねてまいります。

エネルギー・ 原材料価格高騰対策

渡辺 洋一郎(わたなべ よういちろう) 議員



問 物価・資材高騰の地域経済や
町民生活への影響と町の対応は

答 供給状況を把握し、産業と生活を
守る視点で迅速に支援を検討する

問1 農業や商工業など、地域経済への影響と今後の対応は

中東情勢の悪化等により、ナフサをはじめとする石油化学原料の供給不安や価格高騰が続いている。本町の基幹産業である農業や、連携する商工業においても、資材費や燃料費等の上昇が経営に多大な影響を及ぼしていると考える。経営に与える影響の実態をどう把握し、今後どう対応していくのか伺う。

答1 関係団体と情報共有を図り、国・道への要望活動を行う

原油由来製品の納期遅延や価格上昇により、事業者には一層の負担増となっている。JAめむろや町商工会と情報交換を行っており、現状は在庫確保等により大きな影響はないものの、今後は収穫期に使用する梱包テープや容器類などの出荷制限・在庫不足が懸念される。また、公共工事においても資材不足以上に価格上昇が課題となっており、予算への影響を懸念している。抜本的な課題解決には町単独では限界があるため、的確な状況把握に努めるとともに、国や北海道の支援策を注視し、迅速かつ柔軟に対応していく。あわせて、食糧基地である本町の状況を訴え、期成会等を通じて国や道への要望活動を積極的に進めていく。

問2 ごみ袋や医療資材など、町民生活への影響と今後の対応は

世界的な供給不安は、行政サービスや町民生活にも波及する。指定ごみ袋や医療機関の医療用手袋などの不足が報道されているが、本町における実態把握と今後の対応を伺う。また、物価高騰による生活困窮の相談等への備えはどうか。

答2 必要な資材の確保に努め、正確な情報発信で混乱を防ぐ

指定ごみ袋は、一部店舗で品薄な状況が見られたものの、委託事業者に確認し、現時点では年間必要量を確保できる見込みである。買い占めによる在庫不足などの混乱を防ぐため、公式LINE等で正確な情報発信を行い、町民に冷静な行動を呼びかけていく。公立芽室病院の医療資材等についても、現時点では前年と同程度の使用量を確保できており、診療体制に大きな影響はない。しかし、今後の価格上昇が病院経営に与える影響は懸念している。また、物価高騰による生活困窮等の相談件数はやや増加しているが、極端な増加や生活保護認定の増加には至っていない。今後も供給状況や価格動向にアンテナを張り、状況に応じて必要な対応や支援策を講じていく。

一般質問を終えて

今回の一般質問では、物価高騰やナフサ不足が町民生活や地域経済へ及ぼす影響について取り上げました。不安が広がる中、行政には正確で分かりやすい情報発信と、各課が把握する情報を一元化・共有し、迅速に対応する体制が求められます。また、地域産業への影響を的確に把握し、事業者をしっかりと支える姿勢の重要性についても提案しました。今後も町民生活と地域経済を守るため、現場の声を町政へ届けてまいります。

町の契約を見える化し、 税金の使い道を 分かりやすく

正村 紀美子(まさむら きみこ) 議員



問 契約の見える化と
点検をどう進めるか

契約事務は、町民の税金をどう使うかに直結する手続きであり、公正性、透明性、競争性、費用対効果が問われる。地域内事業者の活用についても、単に地元を優先するのではなく、公正性を前提に、町としての考え方を明らかにすべきである。

答 現行の方法を基本に、
必要な分析を検討する

契約事務は、公正性、透明性、競争性、費用対効果を前提に、住民福祉の向上やサービスの提供につなげるものと考えている。契約審査会で審査を行い、契約結果はホームページで公表している。

問1 契約方式別の件数、随意契約や契約変更の状況を整理して
公表し、説明責任を高める考えは。

答1 個別の契約は全件公表しているが、方式別件数や随意契約の理由、変更件数の集計はしていない。データを一覧にし、分析することは可能であり、必要性を検討する。

問2 随意契約、高額契約、契約変更、継続契約などについて、契約後に点検する仕組みはあるのか。

答2 契約前は契約審査会、決算時は監査委員が確認している。契約後の点検については、他自治体の事例を調査研究し、必要な個別検証も検討する。

問3 地域内事業者が必要な業務について、公正性を保ちながら、発注方法や参加要件を見直す考えは。

答3 地域内事業者は、地域経済や雇用、将来の担い手確保にも関わる。ルールの範囲内で、地域でできることは地域事業者につなげていく。

一般質問を終えて

町は契約事務について、法令に基づき適正に行い、監査委員の決算審査でも確認しているとの考えを示しました。

ただ、契約方法や随意契約の理由、業者の選定範囲を振り返り、次の契約に生かす仕組みは十分とはいえません。法令に沿うことは当然ですが、それだけでは町民に分かりやすいとは限りません。公平性を守りながら、町内事業者の活用が地域経済に与える影響も考える。この二つを両立させる契約のあり方を、今後も確認していきます。



地方財政の現状と道内市町村の課題

○日時：7月3日(金)9時00分～11時00分

7月3日、包括連携協定を締結している北海道大学公共政策大学院を訪問し、今井太志教授を講師に「地方財政の現状と道内町村が直面している課題」をテーマとした議員研修を実施しました。人口減少社会における自治体経営や財政運営の考え方、芽室町の財政分析を踏まえ、議会が行財政をチェックする視点について理解を深めました。

今回の学びを今後の議会活動や政策提言に生かしてまいります。



議員の学校

報告

知るど変わる。
はじめてでも分かる議会のこぼ

募集中



本音トークで語り合った3時間目！～議員の学校～

「議員の学校」3時間目では、「もし私が議員だったら？」をテーマに、町の課題や実現したいことについて受講者と議員が意見を交わしました。また、「議員に聞いてみよう！本音トーク」では、議員になったきっかけや仕事・家庭との両立、選挙への不安など、普段は聞くことのできない率直な質問が飛び交い、少人数ならではの

の活発な対話となりました。

参加者からは「議員との距離が縮まった」、「本音で話せて理解が深まった」といった声が寄せられ、議員からも「率直な意見を聞ける貴重な機会だった」との感想がありました。こうした対話の機会は、議会を身近に感じることにつながると再認識した3時間目でした。

お問い合わせ 芽室町議会事務局 電話：0155-62-9731
FAX：0155-62-9813 メール：g-shomu@memuro.net

議会中継がもっと身近になります！！

～9月定例会議からYouTubeによるライブ・録画配信を開始します～

芽室町議会では、これまでの議会中継システムに代わり、令和8年9月定例会議からYouTubeによるライブ配信・録画配信を開始します。これは、老朽化した配信サーバーの更新を機に、より多くの皆さんに議会を身近に感じていただけるよう、視聴環境の充実を図るものです。

YouTube配信になることで、こんなメリットがあります。

- いつでも、どこでも視聴
スマートフォンやタブレット、パソコンから簡単に視聴できます。特別なソフトは必要ありません。
- ライブでも、あとからでも
当日のライブ配信はもちろん、録画配信も行うため、仕事や学校などでリアルタイムに視聴できない方も、ご都合のよい時間に議会をご覧ください。
- 見たい場面を探しやすく
録画映像では、議案や一般質問ごとに見やすく整理することで、関心のある内容を探しやすくなります。

議会は、町民の皆さんの暮らしに関わる重要な議論を行う場です。より多くの皆さんに議会を知っていただき、町政への関心を深めていただけるよう、これからも「開かれた議会」を目指して情報発信の充実に取り組んでまいります。

7月臨時会議 副町長に安田敦史氏を選任

7月22日に開催された臨時会議では、行政報告のほか、副町長選任の同意、令和8年度一般会計補正予算、地域開発事業特別会計補正予算、第6期芽室町総合計画審査特別委員会の設置について審議し、全て原案のとおり可決しました。

議員
賛否

種類		菊池秀明	伊藤稔	木村淳彦	小立原等	中田智志	橋本和仁	堀切忠	渡辺洋一郎	立川美穂	早苗豊	中村和宏	正村紀彦	常通直人	西尾一則	鈴木健元	堀澤幸治	審査結果	議決日
行政報告	行政報告	採決はありません																	7/22
議案	芽室町副町長選任につき同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	選任同意	
議案	令和8年度芽室町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
議案	令和8年度芽室町地域開発事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
会議案	第6期芽室町総合計画審査特別委員会設置の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	

○…賛成、×…反対、
-…議長のため採決には加わりません
欠…欠席、遅…遅参、
除…地方自治法第117条の規定による除斥

委員会レポート

芽室町議会には、役場の仕事をより専門的に調査・審査するために2つの常任委員会が設置されています。(議員はいずれかの委員会に所属して活動します)

厚生文教常任委員会

7/13 7/21 誰一人
取り残されない
支援体制へ

重層的支援体制整備事業について、現行の実施計画の内容と令和8年度の取組状況を調査しました。

【主な内容】

- 計画の位置づけ：町は令和7年3月に、令和7年度から令和8年度までを期間とする実施計画を策定。今後の計画は、第6期地域福祉計画に内包して策定する方針です。
- 令和8年度の取組：共通相談シートによる「断らない相談」の試行、民生委員不在地区への訪問、庁内連携強化、地域共生社会をテーマとした講演会が進められています。
- 委員会の確認点：相談を受けた後、誰が課題を整理し、どの部署や関係機関へつなぐのか、支援の流れと調整役の明確化が必要であることを確認しました。

【委員会の視点】

重層的支援体制は、高齢、障がい、子育て、生活困窮など分野を超えて、支援を必要とする人を必要な支援へつなぐ仕組みです。委員会では、社会福祉協議会や地域団体との連携も含め、誰一人取り残されない地域福祉の実現に向け、引き続き調査していきます。

総務経済常任委員会

6/22 7/1 7/8 地域集会施設の見直しへ
～地域コミュニティの
拠点として町へ要望～

6月定例会議の振り返りを踏まえ、地域集会施設再整備計画の見直しについて協議しました。

【主な内容】

- 現状と課題：地域集会施設は住民自治や避難所として重要ですが、人口減少や町内会加入率の低下、施設の老朽化など、取り巻く環境は大きく変化しています。
- 委員会の確認点：施設を単なる「建物」としてではなく、地域のつながりを支えるコミュニティの拠点として位置づける必要があることを確認しました。
- 要望の方向性：拠点としての再整備、将来像の明確化、住民との合意形成、管理運営方法の検証、利用実態の公表などを盛り込んだ要望書を提出する方向で協議しています。

【委員会の視点】

地域集会施設は、将来にわたって地域活動や世代間交流を支える重要な場です。委員会では、今後要望書の内容を整理して町へ提出するとともに、誰もが利用しやすい体制となるよう、引き続き調査を進めていきます。

芽室公園再整備基本計画審査特別委員会



6/23 芽室公園の再整備、計画の位置づけと進め方を確認

芽室公園再整備基本計画の位置づけと、今後の策定スケジュールについて、町から説明を受けました。

【主な内容】

- 計画の位置づけ：芽室公園は町内最大規模の総合公園であり、施設の老朽化や今後の維持管理費を踏まえ、都市公園ストック再編事業の中で再整備基本計画を策定します。
- Park-PFIとの関係：民間活力を活用するPark-PFI区域と、町が整備を検討する区域は分けて整理。機能が重複しないよう、情報共有しながら計画を進める考えが示されました。
- 今後のスケジュール：今年度中に基本計画を策定し、ラフプランは10月中旬頃に議会へ提示される予定です。今後、施設の必要性、重要度、規模、概算事業費などが整理されます。

【委員会の視点】

芽室公園全体としての一体性、Park-PFI事業との整合性、維持管理費削減と利用満足度向上の両立について確認しました。今後示されるラフプランや基本計画が、町民にとって使いやすく、将来負担にも配慮した内容となるよう、引き続き調査してまいります。

議会白書

議会白書とは、町民の皆さんに議会の活動を公表し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図っています。

会議名		日時	議 件	傍聴人数	ネット中継アクセス数
		会議時間			
本会議	7月臨時会議	7月22日 9:30～10:31	ア 芽室町副町長選任につき同意を求める件 イ 令和8年度芽室町一般会計補正予算（第4号） 他	2	(412)
全員協議会	第5回	7月7日 9:30～9:48	ア 第1回議会モニター会議の総括案について イ 議会白書（単年度版）ダイジェストパンフ案について 他	1	2
	第6回	7月22日 13:30～13:45	ア 議員の学校（4時間目）実施要領案について イ 芽室町議会ICT推進基本計画のリニューアルについて 他	0	(412)
常任委員会	総務経済	第5回 7月1日 9:30～9:55	ア 6月定例会議の振返りについて	0	2
		第6回 7月8日 9:30～9:40	ア 第1回モニター会議意見の回答（案）について イ 要望書（案）について	1	12
	厚生文教	第4回 7月13日 9:30～11:29	ア 公立芽室病院強化プランに基づくR7アクションプラン8の振り返りについて イ 令和7年度公立芽室病院の決算状況について 他	1	72
		第5回 7月21日 9:30～12:07	ア 次期芽室町立小中学校配置計画について イ 第5期芽室町総合保健医療福祉計画策定について 他	4	154
合同委員会	第4回	6月25日 13:30～13:08	ア 第6期芽室町総合計画の策定について	0	18
	第5回	7月22日 10:50～11:05	ア 総務経済常任委員会の所管事務調査に係る町への要望書案について	0	(412)
議会運営委員会	第8回	6月29日 13:30～14:04	ア 第1回議会モニター会議の総括案について イ 議会白書（単年度版）ダイジェストパンフについて 他	0	4
	第9回	7月14日 15:00～16:08	ア 令和8年芽室町議会定例会7月臨時会議の運営について イ 議会ホットボイスについて 他	0	98
	第10回	7月22日 14:00～14:28	ア 議会だより8月号の編集について イ 議会だより9月号の編集企画について 他	0	(412)
予算決算特別委員会	第4回	7月22日 9:55～10:10	ア 令和8年度芽室町一般会計補正予算の審査について	2	(412)
第6期芽室町総合計画審査特別委員会	第1回	7月22日 10:20～10:26	ア 正副委員長の互選について	1	※
		会議時間合計 10:39		計12	平均186.3

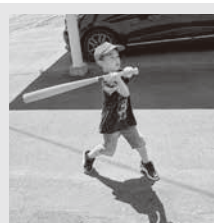
（ ） 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示 ※インターネット中継を実施しなかった会議

視 察 を 受け入れ ました

受入議会名	視察項目
6/2 幕別町議会	議員の学校、議会モニター制度
7/7 小清水町議会	議会改革・活性化、議会運営の取組
7/8 秋田県美郷町議会	議会のデジタル化
7/15 別海町議会	広聴活動
7/15 宮城県利府町議会	議会改革・活性化、広報広聴活動等
7/16 長野県辰野町議会	議会改革



別海町議会の皆さんと



表紙写真の裏側 未来のメジャーリーガー、年長保育園児、瑛成（えいせい）くん

9月定例会議のご案内

2日	9:30～	初日
16日	9:30～	一般質問
17日	9:30～	一般質問
25日	9:30～	最終日

議会傍聴で芽室の未来が見える！

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。（0155-62-9731）



インターネット中継はコチラから視聴できます▲（過去の録画もあります）

編集後記

7月12日に開催された芽室町の花火大会「華音」。昼間は雨が降り開催が心配されましたが、午後7時頃には雨も上がり、無事に打ち上げられました。開催にご尽力いただいた実行委員の皆様、心より感謝申し上げます。4,000発の花火は圧巻で、会場から少し離れた我が家のベランダからも美しく楽しむことができました。当日は約2万5千人が来場し、「華音」はすっかり芽室町の夏の彩る風物詩として定着したように感じます。来年もまた、夜空を彩る美しい花火を楽しめることを願っています。

堀切忠

来月は9月定例会議が開催され令和7年度の決算審査が行われます。昨年度の予算執行が適正かつ効率的に行われていたのか？執行した内容に課題はなかったのか？事業内容と決算額が、適正な状況なのか？町民の生活向上に繋がったのか？など、各議員が4日間に渡ってそれぞれの考えや視点から審査が行われますので、議会傍聴やインターネット中継などで、各議員の審査内容をご確認ください。

鈴木健亮

今年度は、次期総合計画をはじめ、それに基づく各分野の個別計画の策定作業が進められ、今後、議論が本格化します。町が策定する計画は、将来のまちづくりの方向を示す重要な道標です。人口減少や高齢化が進む現実を踏まえ、10年後の芽室町をどのような町にしていきたいのか。現状を的確に分析するだけでなく、町民の暮らしや地域の姿を具体的に思い描きながら、実効性のある未来図となるよう、議論を深めていきます。



正村紀美子

芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト



LINE@
友だちになってね!!
@memuro-gikai2014



公式X（旧Twitter）アカウント
@memuro_gikai
公式Facebookページ
https://www.facebook.com/memuro.gikai

随時
更新中！